



議会だより



走りぬいた感動を忘れないで 町民健康マラソン大会

平成 25 年 6 月定例会・7 月臨時会

- ◆あらまし・議案審議 2～3
- ◆予算審査特別委員会 4～5
- ◆委員提出修正案 5
- ◆一般質問 7 人が登壇 6～12
- ◆請願・陳情・臨時会 13
- ◆委員会レポート 14～15
- ◆町民の声 16



銀竜草「ギンリョウソウ」
別名：ユウレイタケ

6月定例会は3日から12日まで開催され、町長から提出された条例案件9件、補正予算案件2件、専決処分承認案件6件、専決処分の報告・予算繰越の報告・出資法人等に係る経営状況報告案件7件、指定管理の指定案件1件など25件を審議しました。

一般質問は7人の議員により行われました。

また、予算審査特別委員会には修正案が提出されました。

議案

(主な条例内容)

○税条例の一部改正関係

地方税法の一部改正に伴い、個人町民税及び法人税に係るふるさと寄付金の特例控除、町税延滞金等の利率の引下げ、住宅借入金等特別税額控除の対象期間の延長、東日本大震災を原因とした長期譲渡所得の課税特例の適用について改正

○中津川溪谷レストハウス条例

特産物・農産物等の販売による地域産業の振興及び観光振興のため「中津川溪谷レストハウス」を設置することから制定

※7月25日県より無償譲渡される

(主な補正内容)

○民生費

猪苗代児童クラブ施設拡張工事のための設計委託料
488万3千円増額

○農林水産業費

平成23年産の稲わらの仮保管事業の委託料
745万5千円増額

○商工費

緊急雇用創出基金事業交付金の一部申請取り下げ
726万円減額

報告

(主な内容)

○繰越明許費の繰越

24年度の予算を25年度へ繰越

○一般会計

5億8578万6千円の繰越

○下水道事業特別会計

7101万5千円の繰越

承認

○予算の専決処分

○一般会計(平成24年度)

国の補正予算により25年度の予算計上分を24年度に前倒しして施行するための専決処分
3億1890万3千円増額

年度末に確定した国からの交付金の専決処分
1億7810万1千円増額

○国民健康保険特別会計
5000万円減額

○介護保険特別会計
2166万9千円減額

○一般会計(平成25年度)

国の補正予算により25年度の予算計上分を24年度に前倒しして施行するための専決処分
3億124万2千円減額

※注 繰越明許費とは

事業の性質上、または何らかの事情で年度内に支出を終わらない見込みのある経費について、翌年度に繰越して使用することができるよう議会の議決を経て定める予算。

※注 専決処分とは

議会の権限に属する事項について、町長が議会に代わって意思決定を行うこと。議会が議決したのと同じ法律効果が発生する。

「道の駅」の運営法人設立に向け出資

指定管理者の指定

○猪苗代町中津川溪谷レストハウス指定管理者

- ・株まちづくり猪苗代
- ・期間

平成25年7月25日
平成28年3月31日

主な質疑

○中津川溪谷レストハウス基金
条例

【問】提案理由がレストハウスの改修等に要する資金に充てるとあるが、新たに条例を制定する根拠、理由は。

【答】これまでは県の道路公社とまちづくり猪苗代が営業契約で行っていた。その中でまちづくり猪苗代から県道路公社に、ある程度の金額を大規模な修繕に伴う費用相当分ということで支出していた。そのような経過から指定管理の営業売上利益の中から大規模修



中津川溪谷レストハウス

繕に係る経費として支払いただき、基金として積み立てるための条例である。

【問】従来、町が指定管理した幸陽の杜や、振興公社にお願いしている施設については協定書の中で、ある一定の金額の中では町が改修すると決まっていたと思うが、協定の中でレストハウスの運営をすれば基金条例を設置しなくても従来のやり方でできたのでは。

【答】レストハウスについては、営業目的であり、一般の町民の方々の利用という部分よりも、営業をもって本町の観光の振興、情報発信、地元産品の販売を通じて活性化をはかっていく施設である。そのため基金条例でお願いする。

【問】当初どれくらいの金額を受けるのか。毎年の積み立ての金額は。

【答】本来であれば当初にいくらかという金額があるわけだが、ゼロからスタートする。7月25日から県の道路公社、県自然保護課の管轄、管理から町にかわる。かわった後の利益の中から積み立てる。指定管理の申請書の数字から一年間の契約の期間であれば50万円以上は町に積み立てることができるという申請内容である。

【議案内容と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤 悦夫	佐藤英一郎	長澤 操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	後藤 公男	佐藤 光幸	長沼 一夫	山田 長平	関沢 和人	穴沢 進	渡部 博幸	鈴木 武喜
平成25年度猪苗代町一般会計補正予算	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	—

上記以外の24議案については全会一致で可決しました。
※賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらない。

予算審査特別委員会

議長を除く15人の委員で、平成25年度一般会計補正予算1件、平成25年度特別会計補正予算1件を審査しました。

平成25年度補正予算

【主な質疑】

一般会計

「歳出」

《民生費》

問 なぜ猪苗代児童クラブの施設拡張工事を行うのか。

答 猪苗代児童クラブの登録者数は、平成24年度は40人であったが現在のところ70人となり、施設が手狭になったため県と協議し補助を受けて新たに増築をするため、今回設計委託料を計上した。

の設立時に出資金額が明確になっていないと設立が困難であるので、出資金を確定したい。

《教育費》

問 吾妻中学校の除染委託の内容は。

答 主に側溝の除染、校舎の建物の周りの一部の除染委託を行う。除染の経費は、東京電力へ補償を求めるか、または状況によっては特別交付税の交付対象となる。

問 認定こども園整備事業費の公有財産購入費増額の理由は。

答 当初の鑑定評価では、奥行き、間口、成形不成形等の補正が欠けていたので、約12000㎡について鑑定評価の見直しを行った結果、事実上増額となった。

問 施設増築のための用地を確保しているのか。

答 当初2棟建築する予定であったので、同規模の建築を行う用地は確保しており、来年度建築をして、十分な児童保育のできるスペースを確保したい。本年度は設計の委託のみを行い、来年度補助金を受け建築に入る。出来る限り早急な完成を目指したいが、それまでは指導員の適正な配置により進めていきたい。

問 登録者が70人となって、指導は十分にできるのか。

答 昨年度まで常時3人の指導員であったが、本年度当初から5人に増員して対応している。当初予算では3人分の人件費を計上しており、今後増額補正をお願いしたい。

《農林水産費》

問 平成23年度産の稲わらや牧干草の処分はどのように行うのか。

答 県の補助事業で老朽化したものを少し丈夫なフレコンバックに交換する。民間会社と協議が整った

ので、焼却、処分まで全て委託する。今年度で全て焼却することはできないので、平成26年度にも焼却処理を実施する予定である。

問 町営牧場の除染、牧草の処理の見込は。

答 町営牧場は約60haを牧草地として利用しており、本年度の補助事業で除染する面積は20haである。除染には3ヶ年かかることになるが、県と相談して早期に実施したい。

《商工費》

問 緊急雇用創出基金事業費726万円の減額の理由は。

答 水田台帳整備事業、文書受付発送関係強化事業の2事業が国の補助金不採択となったため減額するもので、計3人が雇用できなくなった。3人分の仕事は、人事異動による補充や、現在の人員の中で対応していく。

《土木費》

問 道の駅整備事業で雇用する嘱託員の業務の内容は。

答 町としての道の駅の管理会社設立のための準備で、高い専門性が求められるので、JA関係の方、商工関係の方をお願いする予定です。期間は1〜2カ月程度を予定している。

問 法人への出資の規模は。

答 株式会社設立を想定しており、現在のところ町のみの出資とする。会社を設立して開業するまでの資金として2500万円程度。開業した後の2ヶ月ほどの運営に要する費用として2500万円程度、合わせて5000万円の資金を想定している。

問 道の駅の経営の内容は。

答 道の駅の基本計画にレストランや物販施設が計画されており、他の道の駅の事例等を勘案し、レストランについては委託方式や自社工式、農産物についてはJAに物販委託などを考えているが、これから具体的に検討する。株式会社

こども園関連費の修正案提出をめぐって

予算審査特別委員会において関沢和人委員より「平成25年度一般会計補正予算に対する修正案」が提出されました。幼稚園費・公有財産購入費の増額分を0円とし、その借入れ分を減額とする減額修正案となっており、質疑・討論が行われました。

【提案理由】

現計画地は子どもを守る環境として、町の施設とも離れ、関連も薄い。先の定例会で川西こども園の場所変更要請が決議されているため、今回用地取得を待つてほしい。

【提出者に対する質疑】

問 こども園に関しては公有財産の購入費が既に承認されていて、今回はその増額分である。増額分だけの修正とはなぜか。

答 先の議会でも公有財産購入費に反対している。採決の結果、修正案賛成5人、反対10人で否決となりました。

否決

討論

修正案賛成

佐藤 悦夫 委員

抵抗力の弱い幼児をこども園一ヶ所に集中させると、病気の流行などのリスクが発生する。その観点からなるべく集中させないほうが良いということから修正案に賛成。

五十嵐ミエ子 委員

用地の変更要請に賛成した意志を曲げることは出来ないのので修正案に賛成。

金本久美子 委員

全ての事業についてこの場所を前提として補助金等の申請、あるいは県との打ち合わせを行ってきた。地元の声としては出来るだけ早くこども園ができることをお願いしたいという声も聞いているので、速やかに公有財産を取得し、事業が平成27年度には完成するように、この修正案に反対。

修正案反対



金本久美子 議員

Q. 猪苗代駅前活性化の具体的整備は
A. 会津バス跡地取得を踏まえ、活性化の
具体的方策を検討

旧会津バス跡地の地質調査結果
について

【答弁】一般的に飲料水として使用する
場合の判断基準となる「土壌溶出
量試験」を実施し、若干基準値を
超えた金属類汚染物質等がわずか
に検出された。

【金本】ヒ素がでたと聞いているが、町
民が不安を抱くようなことはない
のか。

【答弁】直接人間が口にする基準なので
心配ないが、県の最終的な判断結
果を待って、諸条件を確認した後
取得したい。将来に向かった町の
方向付け、今後どう町を活性化し
ていくのか、十二分に検討し話し
合っていきたい。

【金本】駅前の駐車場の確保について、
観光協会駐車場や、旧会津バス敷
地等の無料開放の可能性は。

【答弁】観光協会の収益になっているた
め、現状では難しい。旧会津バス
敷地の一部については、一般の方
が利用できるように観光協会と勧
めていきたい。

【金本】定期高速バス発着所の雨風をし
のげるような改善策は。

【答弁】高速バス運行会社の意向もある
ので、それらの方々との協議を踏
まえ検討したい。

【金本】猪苗代の年間の大きなイベント
案内板、名所史跡のわかりやすい
表示板等について、積極的な観光
対策は。

【答弁】予算等も含めながら検討してい
きたい。年間のイベントカレンダー
なども観光協会等と検討したい。

【金本】町内観光バス巡回の可能性は。

【答弁】現段階では経費的に難しい。

放射能汚染被害について

【金本】現在、川魚、山菜等の摂取制限
されている現状は。

【答弁】一部の川魚、山菜等は、食品衛
生法に定める基準値を超えており
出荷の制限は受けているが高濃度
の放射性物質による摂取制限は出
されていない。出荷の制限の状況
は、野生きのこ、こしあぶらで、
こごみ、わらび、うど、ふきなどは、

出荷の規制はない。川魚の場合、
猪苗代湖や流入河川では、ウグイ、
ヤマメが出荷・採捕の規制がある。
秋元湖や流入河川、長瀬川の酸川
との合流地点から上流では、イワ
ナ、ウグイ、コイ、フナ、ヤマメ
が出荷・採捕の規制がある。養殖
の規制はない。

【金本】今後の除染の可能性は。

【答弁】具体的な解決方法は見つかって
いない。国、県の情報を参考に検
討していく。

【金本】今後の情報の広報・周知の方法
は。

【答弁】迅速かつ正確に、また図面等も
つけ、昨年と比較するなど、わか
りやすく工夫しながら周知に努め
る。



猪苗代駅バス発着所

公図と現状の相違について

【渡辺】工事によって道路や水路の位置
が変わった場合、公図の変更登記
をすることになっているか。

【答弁】現地と公図との相違がある場合
でも、公共管理上支障がなければ
変更等は要しない。

【渡辺】国や県が買収した土地の登記と
実態が合致していないケースが多
くあり、国や県に修正を要望した
ことはあるか。

【答弁】それぞれの管理者が確認してい
る事と考える。支障がある場合、
管理者へ連絡する事としており公
共物の管理上、必要に応じて所定
の手続きを行うことにしている。

【渡辺】町は修正の予定はあるか。

【答弁】具体的な事例については、その
都度相談願いたい。

企業誘致について

【渡辺】実績・体制について

【答弁】オフアールはあったが実績はない。
決まった担当者はいなく企業立地
業務については、商工観光係に担
当職員一名・係長・課長で対応し
てきた。専任で誘致業務を行って
おらず複数業務を兼務している。

【渡辺】どのような誘致努力をしたか。

【答弁】町長自らが県東京事務所長・知
事・副知事さらには商工労働部長
に対し強く要請を行ってきた。担
当課は県東京事務所を訪問し、企
業誘致立候補地の状況を説明。結
果、現地視察などの依頼があり、
当町の空き工場の現地案内を行っ
た。

【渡辺】今後の見込みは。

【答弁】現在、「メガソーラー」の問い
合わせがあるが、雇用に結びつく
部分は少ない。本町のすばらしい
自然環境を活かした企業誘致の方
法で対応していきたい。

会津バス跡地の購入について

【渡辺】土壌汚染の実態・原因は。

【答弁】地下水については基準値をオー
バーしていない。基準値を超えた
のは土壌の溶出量試験であり、口
にすることは通常考えられないの
で影響はない。火山地帯に多く自
然からの由来と推測される。最終
的な判断は県が行う。

【渡辺】購入計画はどうなるか。

【答弁】土壌防止法の判定が決定・確定
すれば進めたい。駅前の活性化の
ためあの土地は有用であり、購入
を考えている。



会津バス跡地



佐瀬 真 議員

Q. 道の駅では新しい運営会社を作るのか
A. 町長が代表となる町100%出資の株式会社を作る

こども園の設置計画は

【佐瀬】場所を見直すことの議会決議案を受けて、これからの予定は。

【答弁】全町6カ所で地区説明会を開いた。町の方々にご理解をいただけたものと考えている。

【佐瀬】全体で60人程度の参加者に説明したことで信任を受けたことになるのか。また、議会の決議とはそんなに浅いものなのか。

【答弁】決議案は重く受け止めている。おいでにならない方、来られない方もいるが、町の方針で良いとの信任の現れと理解している。

【佐瀬】今後、教育関係者、保護者等を交えた、ふさわしい場所の選定を考える委員会などを設置するのか。

【答弁】場所については専門的な知見が必要であり、役場の中の専門家で検討をおこなってきた。

【佐瀬】震災後、観光も農業も痛手を受け、税収も下がっている中で、計画の規模や形態などを見直すなどの考えは。

【答弁】6年前から幼保一元化を公約としている。考えを曲げる事は無い。

町消防団の現状と防災対策は

【佐瀬】各地区における団員の構成状況と配置は適正であるか。

【答弁】地区の事情により団員の確保が難しいなどにより13人条約定員に満たない状況もあるが、各地区団員の構成は概ね適正に配置されているものと考えている。

【佐瀬】地区内火災など限定的な活動のためにOBに法被を貸し与える考えは。

【答弁】OBの方々は地域を熟知していて大きな防災力の要でもあり、自主防災組織の育成や強化を図る。

【佐瀬】水を積んだ車載型消防車がないので給水タンク車の検討は。

【答弁】広域消防については自ら水槽を背負った消防車は配置されている。水利の確保については地元の方、消防団から水の支援を受け消火活動を行うようにしている。

【佐瀬】平日の日中限定で役場内に消防班を作る考えはあるか。

【答弁】執務上に大きな影響を及ぼすこともあるので、検討の価値はあると思うが、現実的には難しい。

【佐瀬】夜間の火災出動時における飲酒等の実態についての認識と通知等

【佐瀬】これからも利用園児の数が見込まれる猪苗代保育所、預かり保育

をしている千里幼稚園を残すことなどは既存の施設や町所有の土地を積極的に使う事となり、この時勢にはしっかりと考えることが必要ではないのか。

【答弁】子どもは集団形成が良く、出来るだけ大きな集団の中で育てた方が良い。また、ひとつにまとめた方が効率も良いと考えている。

【佐瀬】0歳から5歳の園児330人規模の子ども園だが、運動会や学習発表会などには、園児のご父兄が1000人位は来園すると予測されるがどのように対処するのか。

【答弁】施設の規模については基準に照らし合わせて対処していきたい。

【佐瀬】予算の財源は何を使おうと考えているのか、そのなかで町税負担はどのくらいなのか。

【答弁】現段階で全体予算の15%を国庫補助金を使い、20%強を一般財源（町税）で、残りを町債として過疎債と義務教育施設債（7割程の交付税措置3割の借款）でと考える。

の徹底は。

【答弁】消防団長の命令のもと出動し、飲酒状態の活動はないものと考えている。なお、団長をとおして十分に指導している。

【佐瀬】各家庭における火災警報システムの取り付け状況は。

【答弁】町全体で37・74%の設置率となっている。今後とも設置促進に向けた啓蒙活動を実施していく。

【佐瀬】防災無線デジタル化の進捗状況と課題は。

【答弁】デジタルは遠くまで飛ばないため重要なものについては室内で聞けるようなものも計画しているが、放送が開始されれば窓を開けて聞いて頂く方法にかわりはない。

「道の駅猪苗代」の進捗状況について

【佐瀬】道の駅基本理念や優良農地を守るという理念等との整合性は。

【答弁】十分議論されて決定したものであり農業振興については活性化計画の中で道の駅を活用するものであるので理解願いたい。

【佐瀬】場所を選定するにあたって環境調査等は十分に行ったのか。



財源はどうする、返済は。

道の駅の財源とビジョンは

【佐瀬】2年後の開業を目指している計画なのだからどの財源を使うのか決まっているはずだが。

【答弁】策定中の為、詳細は出せないが、トイレと駐車場の予算は県が負担予定、隣接施設の建設を農水省の交付金で、残りを町債の発行と過疎債、一般単独事業債などを充てる予定。

【佐瀬】運営会社を新たに作るらしいが町には既存の運営団体もあるが、別組織を作るメリットと根拠は。

【答弁】100%出資（5千万円）だと管理上スムーズであり、施設の効果も発揮できる。役員構成は代表が町長、県の経済関係の方、商工会で活躍されている方を推薦したいと考えている。

【答弁】環境アセスメントは実施していないがレッドデータに記載されている動植物がないかは調査した。

【佐瀬】検討委員会の会合を行った時間は。

【答弁】策定部会において4回で、案件にもよるが一日あたりだいたい半日である。

【佐瀬】農振除外の手続きはすんだのか。

【答弁】申請には至っていないが、基本設計を作成しないといけないが、基本的資料もあるので理解願いたい。

【佐瀬】事前協議はどこと行っているのか。

【答弁】農振については農林事務所、土地収用法の事業認定については県の土木総務課用地室で行っている事業認定を受ける必要がある。



田植えを終えたばかりの道の駅建設予定地



長澤 操 議員

Q. 福祉の町としての町政をどう考えるか
A. 施設の新設や増設等について協議を重ねていく

高齢者の福祉政策は

【長澤】高齢者福祉施設の現状は。

【答弁】特別養護老人ホームが2カ所で定員170人、介護老人保健施設が2カ所で定員200人。グループホームが3カ所で定員54人。利用状況は、各施設ともほぼ満床。

【長澤】入居者は町内の人か。

【答弁】いなわしろホーム80人（町内71人、町外9人）咲楽の里83人（町内45人、町外38人）となっている。

【長澤】特別養護老人ホームの利用料は。

【答弁】いなわしろホームの多床室5万円程度。咲楽の里個室6万6千円程度。他に食費、居住費もあるのもっと幅はある。

【長澤】施設利用待機者の実態は。

【答弁】いなわしろホームで172人（町内120人）咲楽の里で161人（町内71人）重複カウントもあるので3分の1程度と考えられる。

【長澤】申込みから入居までの期間は。

【答弁】要介護の度合いや家庭環境など複合的な事を勘案して決められ、申込み順ではないと聞いている。

期間は答えられない。

【長澤】高齢者福祉施設の増設の有無は。

【答弁】第5次事業計画の中で介護付き有料老人ホーム30床の新設が計画されている。27年度からの6次計画は民間業者との調整をはかり検討していく。

観光産業の現状と強化策は

【長澤】町内の観光客の入込状況は。

【答弁】前年1月から12月までの入込状況は、磐梯山65.9%の増、震災前5.2%の増。中ノ沢・沼尻16.4%の増、震災前52.3%の減。志田浜46.9%の増、震災前30.4%の減。全体では8割までの回復状況である。

【長澤】八重の桜の効果、風評被害の払拭は。

【答弁】会津若松市程ではないが効果はある。対策の予算を取り誘客に対応する計画を策定し対応している。

【長澤】志田浜の整備状況は。

【答弁】土地等の所有者と空き店舗の対策を含めた協議を進めていきたい。



小坂山からの眺望

【長澤】長浜・天鏡閣の看板は。

【答弁】駐車場は県が整備、長浜公衆トイレは町が一部借り受け整備維持管理をしており、49号線沿に看板設置は規制もあり難しい。

【長澤】亀ヶ城公園の将来展望は。

【答弁】町民の憩いの場、観光客用として両面から活かしていきたい。

【長澤】緑の村の軽便車輛を中ノ沢温泉に配置転換しては。

【答弁】早急に移行することは難しい。駅舎亭の問題もありもう少ししばらくお待ちいただきたい。

【長澤】今後の誘客の為の施策は。

【答弁】新たな施策として「修学旅行」「合宿」誘致用に学校関係に各種の情報とアンケートを含めたダイレクトメールの発送に向け観光協会と進めている。

細貝 功人 議員

Q. 年末年始等の窓口業務は
A. 夜間延長の利用状況を踏まえて検討



窓口業務サービスの方向性は

【細貝】夜間の窓口業務の相談体制について、時差出勤・フレックス制導入の考えは。

【答弁】各課超勤手当で対応。フレックス等について庁内で検討した。一週間に一日なのでローテーションも考え、時間外で対応したい。

【細貝】超過勤務手当の予算措置は。

【答弁】当初予算で全職員で4%の枠を持つっており、その枠で対処したい。【細貝】年末年始及び休日の窓口業務について、何日かあける考え、条例規則等の問題点はあるか。

【答弁】条例で休日として定められているが、解釈を拡大すればできると考える。夜間延長の利用状況を踏まえて検討していく。

【細貝】住民票・戸籍等の自動交付機の設置、コンビニでの実施の検討は。

【答弁】相当の予算の確保が必要。行政サービスの観点からも、総合的に勘案し、先進地事例も含め、庁内で研究・検討が必要。



空き家等の管理は？

【細貝】空き家状況調査の平成19年以降の実施状況について伺う。

【答弁】「定住化事業」として、8月頃を目途に各行政区長に協力を頂き、「空き家」にかかる調査を実施することとしている。

【細貝】空き家・空き店舗について、一元的な管理・公開の考えについて。

【答弁】賃貸並びに売却の有無について調査項目にあげたい。貸家等に行きるといふ情報については、管理会社と情報共有し、活用対策をはかる。

「広報猪苗代」の発行は

【細貝】「広報猪苗代」の編集方針について伺う。

【答弁】町民への広報・公聴を目的として発行している。行政が伝えたい情報と町民が知りたい情報を町民視点での紙面づくりをしている。町づくりと同じく「町民の広報誌」であるよう努めている。

職員の人事異動の基準は

【細貝】4月の異動で一年で異動した者が3人、六年以上の者もいるなど幅があるが。

【答弁】一年で異動のうち2人は課長、1人については、重要事業に従事させるため異動、六年以上の者は長いため異動させた。

あなたの声を審議しました!!

6月定例会で審議された「請願・陳情」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者・陳情者の氏名	紹介議員 氏名	付託 委員会	審議結果	区分	件名 請願者・陳情者の氏名	紹介議員 氏名	付託 委員会	審議結果
請願	町道の舗装に関する請願	渡辺 眞一郎	経済建設	不採択	陳情	町道打越北線の改修に関する陳情		経済建設	採択
	新町イ区長 塩谷 慶一 他 1名					打越区長 大関 守			
陳情	舗装新設工事に関する陳情		経済建設	採択	陳情	町道打越線の側溝改修に関する陳情		経済建設	不採択
	島田区長 小檜山 吉雄					打越区長 大関 守			

経済建設委員会の不採択の理由

「町道の舗装に関する請願」

旧々役場跡地の利用計画も含め、町から「歩いて暮らせるまちづくり」の具体的計画が示されていないので、地域住民の理解が不十分であり、また、地域として面整備が必要で部分的な改修は時期尚早であると認められる。

原案に対して賛成

五十嵐ミエ子 議員

町内に少しでも観光客を呼び戻すことが必要と考える。舗装完成により町活性化に大いに役立つと期待できるという町民の声を重視する立場からも原案に賛成。

経済建設委員会の不採択の理由

「町道打越線の側溝改修に関する陳情」

水路の幅員が狭く、隣接地との高低差も大きく、民地側の石垣や塀の改修も必要であるため難しい工事となる。また、現況の水路に支障がないため、早急な改修の必要はないと認められる。

原案に対して賛成

渡辺 眞一郎 議員

旧町内には観光客を呼び込める施設がなかったが2つの蔵の改修により、町外からも観光客を呼び込めるものとなった。周辺一帯の景観も考え、歩道を舗装すれば観光に活かせることから原案に賛成。

7月臨時会 職員・町長等の給与 月額 4.27% 減額

平成25年7月から平成26年1月まで

平成25年第3回臨時会は7月16日に開催され、町長から提出された専決処分の承認3件、工事請負契約の締結1件、財産の取得1件、人事案件1件の審議を行いました。専決処分の承認を求めること（職員の給与の減額）について討論が行われました。

賛成

長沼 一夫 議員 全員協議会で説明を受けており、専決処分については議会を招集する時間的余裕がなかったと判断し、やむをえない。

渡辺眞一郎 議員 国家公務員が被災県応援のために暫定的に給与を減額したことにあわせ、応援されている被災県は当然減額すべき。

討論

反対

五十嵐ミエ子 議員 給与削減は職員の生活設計を大きく狂わせ、地域経済へも大きな影響を与える。

関沢 和人 議員 専決処分には全くなじまない。議会を開き十分な審議を経て決めるべき。

佐瀬 真 議員 減額により町の活性化にブレーキをかける。専決処分でなく、議会で審議すべき。

【審議した議案と可決状況】

件名	1 佐瀬 真	2 細貝 功人	3 佐藤 悦夫	4 佐藤 英一郎	5 長澤 操	6 金本 久美子	7 渡辺 眞一郎	8 五十嵐 ミエ子	9 後藤 公男	10 佐藤 光幸	11 長沼 一夫	12 山田 長平	13 関沢 和人	14 穴沢 進	15 渡部 博幸	16 鈴木 武喜
専決処分の承認を求めることについて (職員の給与に関する条例の一部を改正する条例)	×	○	×	○	○	○	○	×	○	欠	○	○	×	○	○	—
専決処分の承認を求めることについて (町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	—
専決処分の承認を求めることについて (教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例)	×	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	—

上記以外の3議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、採決時届出欠席は「欠」、議長は採決に加わらない。

五十嵐ミエ子 議員

Q. 子育て支援は

A. 県内各市町村の保育料は、国の動向を注視していく



町独自の保育料無料化は

【五十嵐】引き続き検討することであつたが町独自の考えで保育無料化を実施できないか。

【答弁】県内各市町村の動向をみても、ほぼ本町と同じような状況であり、軽減については国の動向を注視していく。

【五十嵐】延長保育の充実（幼稚園・保育所の預かり保育）は全てについて必要ではないか。

【答弁】猪苗代・千里幼稚園で実施しており、学区がなく他の地区から預かることもできそれで対応している。

【五十嵐】給食を無料化（幼稚園・小・中学校）にした場合の町の負担額は。

【答弁】さくらこども園にかかる給食は年間500万円強600万円弱で、小中学校は平成24年度において一食あたり小学校で275円、中学校で325円で6857万8千円程度の保護者負担となっている。

川西地区こども園の設置は

【五十嵐】川西地区こども園設置場所について適正でないので変更されるよう決議したが町の考えを問う。

【答弁】教育委員会が中心となり、各地区で町民の方々の意見を伺った。その結果、現在の場所ですぐに整備し待機児童の解消をしてほしいという意見も頂いたので、議会の意思と町民の方のご意見を勘案し、町で示した内容で進めさせていたきたい。

町の経済活性化は

【五十嵐】道の駅を建設することによって町の経済活性化をどのように考えているのか伺う。

【答弁】休憩機能、農産物等販売機能をもたせ観光や振興の拠点として地域情報を発信する。猪苗代町内を回遊していただけるよう取り組んでいきたい。道の駅の整備については救急医療や事故対策、住民の安全を守る全ての災害対策に対応できる多機能型「道の駅」の整備促進を目指す。



活性化が求められる商店街

【五十嵐】商店街についてどう考えているのか。

【答弁】道の駅は高速道路の降り口、インターのそばであり、玄関口に観光の情報発信機能を設け、大いに活用し観光地、商店街の情報を発信できる機能が必要と考える。

【五十嵐】身近な買い物場・コミュニティの場でもあり、まちづくりの中心である商店街対策は。

【答弁】商工会、（株）まちづくりいなわしろを中心として空き店舗・空き地を含めて新規創業者の支援にあたっている。道の駅も含めて情報発信の基地として町内に誘客できるようにしていきたい。

委員会レポート

文教厚生常任委員会

保育所・さくらこども園の実態調査

猪苗代保育所

現在65人が入所。身体測定を月1回実施し、一人一人の発育の状況や、所での様子を記録している。保育室の面積が当初定員60人で建築された建物であるため保育室が手狭になっている。4、5歳児の保育を同じ保育室で一人の保育士が行うため児童年齢に合わせた幼児教育が難しい。待機児童、0歳児2人、1歳児1人、2歳児8人、3歳児1人。

中の沢保育所

保育所の特徴として、3〜5歳児用に食堂がある。土曜日の保育の利用は多い時でも5割程度である。吾妻幼稚園と随時幼保連携を行っている。小規模保育（定員35人）であるため保育室の数が少なく、3歳児以外は1保育室での混合保育となる。待機児童0歳児1人。

さくらこども園

0歳児から就学前までの一貫した保育及び教育を提供でき園児に発達の継続性が期待できる。駐車場について園行事の際の確保が課題である。待機児童0歳児、1歳児各1人。2歳児3人。

意見

さくらこども園の送迎バスにつ



中の沢保育所の状況を調査

いて距離があるためか時間がかかりすぎるので、バスを増やすべきである。開園から1年が経過し、今後、保護者からの意見も聞くべきである。

猪苗代・中の沢保育所ともに部屋の数が少なく複式保育となっている問題があるため、新たに建設する川西こども園については、きめ細かな保育のために少人数で対応できるように小さな部屋を作り、午睡を妨げない配置とすべきである。冬期間の除雪対策についても十分に考え建設すべきである。

こども課の職員体制について、正規職員と嘱託職員のバランスを考え、本採用の職員をできるだけ多くすべきである。

今後子育て支援の観点から待機児童をなくすべきである。

議会広報編集特別委員会

福島県町村議会広報研修会

良いところ

- 「あらまし」について、定例会の概要が示されている。
- 審議した議案と議員の賛否公開がされている。
- 「予算審査特別委員会」は、審査での主な質疑の紹介、内容、内訳が示されており基本的な対応ができています。
- 「一般質問」は、議員名、顔写真、Q&A見出し、施策に関する写真の4点セットが揃っている。
- 「町民の声」が好企画である。

指摘事項

- 大見出しについて「金額見出し」ではなく、議会としての評価、問題点などチェック機能や政策提案内容を見出しとした方が良い。
- 「予算概要」について、住民の関心の高いものや切実なものを中心にする。
- 写真やグラフなど視覚的要素を前面に出すレイアウトが必要。
- 表紙は一番目立つ場所のため単なる絵ではなく、写真をとおして議会からのメッセージを発信すべき。



広報編集について学ぶ委員

総務常任委員会

消火栓及び防火水槽の状況

消火栓は、町内総計で606基が全域にわたって設置されているが、既存の水道網を利用して設置されるため、消防法での基準である150mm以下の水道管に接続しなければならぬ場合や、水道網そのものが上水道以前の集落水道を利用して、上水道本管に一力所で接続する手法が採られているため、相対的に水圧・水量が上がらない結果となっている。

また、消火活動にあたって、本管から分岐した枝線に設置された消火栓を2基・3基と同時開栓、同時使用すると水圧・水量が不足して使用できない状況になる。防火水槽は町設置のものとして38カ所に設置されており、消火栓の設置が困難で自然水利が無い所に設置するが、消防法による基準の40tを設置するため、用地の提供を受ける必要があることから、多くを設置することは困難である。

また、冬期間は自然水利が減少するほか、農用水も東京電力との契約の関係上、消火用水を確保することは困難であり、消火活動に支障を来す現状にある。

近年設置された荻窪区内の防火水槽を調査したが、閉鎖型の水槽で安全が確保され、上水道から給水できることから実用的であるが、住宅地内で用地を確保するには、区内や宅地所有者の理解が必要で



荻窪の防火水槽を現地調査

あり、早急な普及は困難と思われる。

道路埋設型の消火栓については、冬期間凍結があることから地上型に随時変更されていること、既存の消火栓についても、要望を受け積雪地に適した二段給水口の消火栓への取り換えを実施していることが報告された。

意見

経済建設常任委員会

入札執行状況・工事の進捗状況

上下水道課の平成23年度工事発注概要は、下水道関係で総額3億8000万円、そのうち43%の1億6300万円が災害復旧関連の工事となっている。

その中で、中ノ沢特環下水道復旧工事の入札が2回も不調になったが、業者の従業員が足りないことや、設計価格が低かったなどの要因があると思われる。また、東日本大震災で、町外被災地の災害復旧工事の発注が多かったため、業者が受注しきれない状態であった。

給水管は、旧町内を除いて石綿管が相当残っており、計画的に塩ビ管への布設替えを行っており、なるべく工事費を下げるため、公共工事に合わせて布設替えを行っている。

また、道路に対するマンホールの高さがまちまちで通行に支障がある場合があるが、明らかに通行に支障がある場合は補修するが、数が多く、沈下の程度にも差があり、様子を見ている状態である。

建設課の工事関係で入札が不調になった要因として、入札価格が予定価格に達しない場合があり、最低入札価格を提示した業者と再見積により随意契約としている。

平成24年度の工事で、酸川野田茂沢線流雪工事がU字溝などの資材が受注生産のため調達が遅れた

ため明許繰越となった。

都市計画道路新設工事は、相続未済のため用地取得に時間がかかったことや、細部の設計を見直したため発注が遅くなり、明許繰越となった。

意見

東日本大震災以降、災害復旧工事ははじめとする公共工事の発注が増大し、型枠工、鉄筋工などの技術者が不足しており、町の公共工事の発注にも支障が出ている。公共工事は社会資本の整備による町民福祉の向上だけでなく、町の経済に与える影響も大きく、早期の予算執行が望まれる。

今年度も土木費や特別会計で多くの公共工事が予算化されているが、町の建設業の現状を十分検討し、町民生活に直結する工事や、それに付随する各種委託事業に早急に着手するとともに、事業の年度内完成を目指すべきである。



下水道工事の掘削状況

町民の声



月輪地区
鈴木美弥子さん

輝く子供たちのために

ずっと続けていこうと決心したことがある。それは「読み聞かせのボランティア」。

はじめは、人員不足で「私でもいいですかねエー」ととりあえずメンバーに登録した。

緑小学校に月2回、朝の読書の時間にお邪魔している。職場の理解もあり、出勤前に読み聞かせをして仕事に向かう。

「読み聞かせ」を通して子供たちから元気をもらうし、私自身、勉強になる。

「子は宝」というのが本当にそのとおりだ。しかし、子供の人数が年々少なくなり、学校の統廃合の話も本格的に

なっている。寂しい話だが今の現状では仕方ない。統廃合はプラス面もマイナス面もある。私が一番心配なのは、地域との交流が薄らいでいくのでは...ということである。学校は、先生と保護者、そして地域の人と一緒に子供たちを育てていくことで、自立して「生きる力」が養われるとともに、協調性や責任感など他者と関わるコミュニケーション能力が高まると思っています。

地域の皆さん、学校から離れないでください。益々、皆さんの力が必要になってきます。個（コ）育てや独（コ）育てが多くなってきた子供たちの特にコミュニケーション能力が下がってきています。学校まかせでは、子供は輝きません。学校、保護者、地域の皆さんの協力が必然です。行政はもちろん企業の協力も必要です。皆で猪苗代の子供たちを育てていきましょう。輝く子供たちの未来のために...

傍聴においで下さい

**9月議会は
9月2日(月曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：5日(木)・6日(金)】

※質問者・質問内容については9月2日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲
示
施
設
名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえき まるしめ



第4回 グランドゴルフ議長杯

6月24日に亀ヶ城公園みんなの広場にて開催されました。晴天のもと、48人の参加により戦いが繰り広げられました。

編集後記

編集に携わり16ヶ月が過ぎました。その間6回の議会、だよりが発行になりました。編集の都度、質問・答弁の内容の要約が重要になります。限られた経費、紙面（スペース）のなかで、その議会、議論の身・問題点を、町民の皆様にお知らせしていく事ができるかが求められます。

そんな中、議会の映像化について協議がなされて居ります。実施される事となりますと、その映像をどのようにして、町民の皆様にお届けするのかなどを含めて議会、だよりの役割が、どのように変わるのか、注視をしていきたいと思っています。

佐藤 英一郎

議会広報編集特別委員会

委員 長	渡部 博幸
副委員長	金本 久美子
委員	佐瀬 真
委員	細貝 功人
委員	佐藤 悦夫
委員	佐藤 英一郎
委員長	鈴木 武喜